

小論文

平成20年度 地球環境科学部 専門高校 (学科)・総合学科生徒入学試験問題

(試験時間60分)

環境システム学科

あなたが興味をもっている環境問題と将来つきたい職業との関連について、800字以内で述べなさい。

地理学科

大学で地理学を学ぶことを希望した理由について、800字以内で述べなさい。

小論文

平成20年度 文学部 専門高校 (学科)・総合学科生徒入学試験問題

(試験時間60分)

哲学科

なぜ哲学に興味をもったのか、また哲学科で何が学べると考えているのかを800字以内で説明しなさい。

史学科

歴史上の事件や事柄のうちから、あなたが関心をもつものを一つ取り上げ、その概要を説明し、それに対するあなたの考えを800字以内で述べなさい。

社会学科

近年の社会問題の中から、あなたが勉強してみたい問題を一つ選び、それに対するあなたの見解を「社会学的な視点」から800字以内で述べなさい。なお、ここにおける「社会学的な視点」とは、あなたが現時点で理解している「社会学」をもとに考えたもので構いません。

文学科英語英米文学専攻コース

専門高校 (学科)・総合学科に学んだ経験から、文学科英語英米文学専攻コースで学びたいと思うことを800字以内で述べなさい。

文学科日本語日本文学専攻コース

高校の国語に興味があったものについて書き、大学で日本語日本文学を学ぶのよみに勉強しちつち考えているのか、何かに100字以内で書くなさい。

社会福祉学科

日本社会で高齢者と子どもとの同居が減少していることを、どのように考えますか。次の新聞記事を参考にしながら、あなたの意見を800字以内にまとめなさい。

**子・孫と同居希望
お年寄りの34%**

05年度調査 80年度には6割

年寄りには減り続けていることが、内閣府の調査でわかった。1980年度にも割近かったのが、05年度の調査時点では、ほぼ3人に1人になっていった。一方で、別居しながら「時々会うのがよい」と考える人は4割に増え、初めて「同居派」を上回った。別居する子どもと会う頻度は、韓国や欧米3カ国の高齢者より少ないこともわかった。

調査は「高齢者の生活と意識に関する国際比較」で、今回6回目。05年11月～06年2月、日本、米国、韓国、ドイツ、フランスの5カ国で60歳以上の男女を対象に訪問調査をした。日本では約840人、他4カ国では約千人ずつの約4900人から回答を得た。日本の高齢者のうち「子どもや孫といつも一緒に生活するのがよい」と考える割合は、1980年度には59・4%あったのが、00年度には過半数を割り込み今回は34・8%にまで減った。逆に、別居して「時々会うのがよい」は、80年度には3割だったが徐々に増え、今回42・9%になった。韓国ではこの傾向は顕著で、80年度に約8割いた「同居派」は、今回約3割に。フランスとドイツではほぼ横ばい。別居している子どもにも会ったり電話したりする頻度は、「ほとんど毎日」か「週1回以上」とした割合が米国81%、韓国67%、フランス67%、ドイツ59%だったのに対し、日本は47%にとどまった。

子どもや孫と同居するのがよいと考えているお年寄りの割合

朝日新聞 2007年4月9日 (夕刊)

人間福祉学科

いじめ問題から見えてくる現代の子どもへの課題を指摘し、それを改善するにはどのようなことに留意すればよいか、あなたの考えを800字以内で述べなさい。

小論文

平成二十年度 仏教学部 専門高校 (学科) ・総合学科生徒入学試験問題

(試験時間六十分)

宗学科

日蓮聖人について、あなたの知るところを、八〇〇字以内で述べなさい。

仏教学科

「仏教文化とわたし」または「仏教とわたし」というテーマのいずれかを選択し八〇〇字程度に纏めなさい。

小論文

平成20年度 経済学部 専門高校 (学科)・総合学科生徒入学試験問題

(試験時間60分)

次のいずれかの問題に答えなさい (いずれも800字以内)。

問題1 近年の日本社会は、閉塞感に包まれており、将来に夢を持たない若者が増えていると言われている。若い人たちが将来に希望を持つことができ、生き甲斐を感じながら働くことができるような社会にしていくためにはどうすれば良いと思うか、あなたの考えを述べなさい。

問題2 大学で学ぶことの意義および大学生はいかにあるべきかということについて、あなたの考えを述べなさい。